

高橋 秀士

- ・3月11日友人の家で遊んでいると巨大な地震が発生しました。これは危ないと思い、近くの避難所に向け移動しました。移動している途中で道路が陥没しているのを目にしとても驚きました。避難所について数分後、水平線の向こうからゴーという音が聞こえてきました。
- ・また地震と思ったら、それは津波の音でした。車や家などがどんどん飲み込まれ、鮎川の街一面が津波に覆われてしまいました。あまりにも残酷で唾然とするほかありませんでした。
- ・幸い次の日には姉や父と再会することができ、網地島にある家に帰ることができました。そこで母と会うことができ、家族全員がそろったことはとてもうれしいことでした。また、3月末に卒業式を迎えることができ、また、4月の中旬に入学式をできたことは僕にとって安心できた出来事の一つです。
- ・このようなことができたのは、いろいろな方が支援をしてくれたからだと思います。救援物資などを県外の方はもちろん海外からも支援をたくさん受けました。被災地のためにこのようなことができることはとてもすごいことだと思います。
- ・また、支援して下さった方と絆が深まったと思います。このようにしていただいたことに感謝し、今度は自分たちが地域の力になるために、全校で取り組んでいる侍ソーランを一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。